

議会だより

# さんのへ



Facebook



Twitter

## 第186号 (令和2年11月24日号)

- P2 ..... 令和元年度決算を可決
- P4 ..... 一般質問 (6議員)
- P7 ..... 請願陳情審査結果覧
- P8 ..... 議決結果一覧
- P10 ..... 議員活動リポート



10月10日、アップルドームで新型コロナ発生下の災害発生を想定した避難所設置訓練が行われました。訓練はダンボールベッドの設置や避難者の誘導のほか、感染が疑われる人が避難した場合や避難先で容体が急変した人の対応など想定されるさまざまなケースで実施されました。

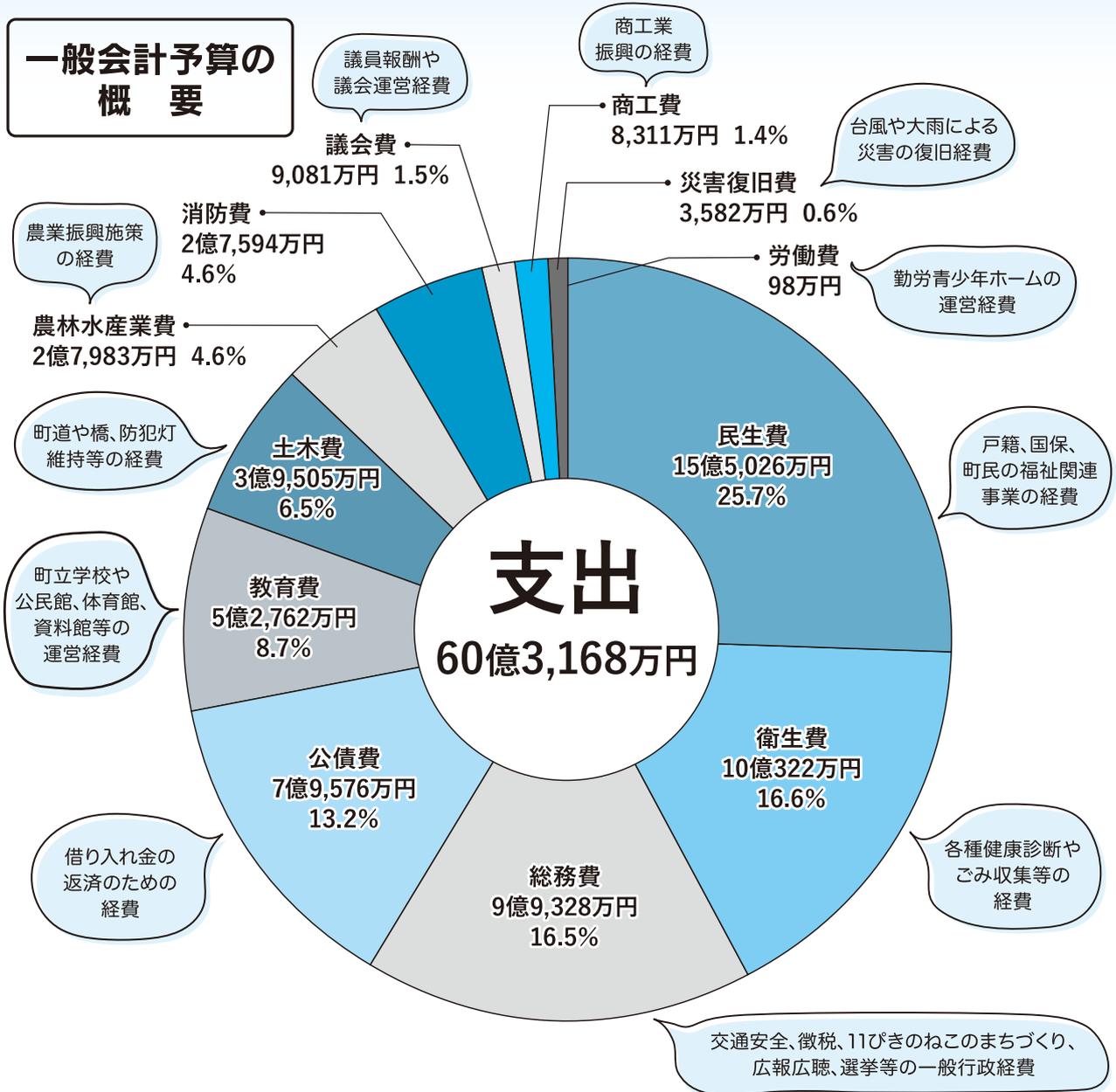
町民、各種  
団体の皆さま  
へのお願い

政治家はごく一部の例外を除き、お招きいただいた会合へ出席する際、ご祝儀をお渡しすることは公職選挙法違反となります。

忘年会など、飲食を伴う会合等の議員への案内状や招待状には、会費を明記していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

～令和元年度決算を可決～

# 町の予算は使われたのか？



収入 61億7,565万円 - 支出 60億3,168万円 = 1億4,397万円の黒字

特別会計予算額				
会計名	歳入	歳出	差引	
学校給食共同調理場	3,517万円	3,489万円	28万円	
簡易水道事業	3,999万円	3,814万円	185万円	
下水道事業	2億4万円	1億9,518万円	486万円	
後期高齢者医療	1億2,590万円	1億2,571万円	19万円	
介護保険	17億6,741万円	17億1,639万円	5,102万円	
国民健康保険	13億2,813万円	12億7,947万円	4,866万円	
三戸中央病院事業	収益的収支	16億8,762万円	16億6,989万円	1,773万円
	資本的収支	2億430万円	3億420万円	▲9,990万円

## 令和元年度 決算特別委員会

# 私たちはココを チエツクしました。



### 主な質疑

#### 一般会計

リサイクル収益の  
使いみちは？

Q 柳澤圭太委員

ごみの収集の委託には資源ごみも含まれるが、これをリサイクルした収益は何に使われているのか。

A 住民福祉課長

資源ごみはクリーンセンターが販売し、その収益は組合の会計に入り、運営経費に使われている。

テレワーカー育成  
セミナーが仕事に  
結び付いたか？

Q 山田将之委員

テレワーカー育成推進事業でセミナーを開催し、延べ42名が受講したとのことだが、実際に雇用や仕事に結び付いたか。

A まちづくり推進課長

このセミナー受講者でテレワークを実践し、テレワークを発注する会社に登録した人が2名、ホームページ作成を始めた人が1名と報告を受けている。開業やネットショップのオープン準備中という人もいるようなので、今後増えてくると思われる。

農業レベルアップ事業

PR不足では？

Q 佐々木和志委員

農業レベルアップ事業の予

算200万円に対し決算が63万円。さらに販路拡大の取り組みは1件のみである。生産者の所得に直結する販路拡大のためもつとアナウンス、指導し所得向上につながる取り組みをすべきではないか。

A 農林課長

PR不足もあった。令和2年度は販路拡大やコスト低減事業にプラスし、新規就業者は10分の10の補助率とした。今後も農業者に必要な支援となるよう宣伝に努める。

仮装大会の

マンネリ化対策は？

Q 千葉有子委員

今年は新型コロナウイルスで開催できなかったが、夏まつりの仮装大会、じゃんけん大会にマンネリ化を感じるが、町職員も企画に加わっているか、また企画の柱は商工会か。

A まちづくり推進課長

夏まつりは商工会が事務局となる実行委員会が実施しており、それには役場職

員も委員として参加している。マンネリ化の指摘も確認しているので、実行委員会へ意見として申し入れたい。

ラッピングバス故障時の  
契約は適切にされて  
いるか？

Q 栗谷川柳子委員

前回ラッピングバスを運行しすぎて廃車になり、町の予算でまたラッピングしたケースがあったが、今回は瑕疵の期間等定めた契約をしたのか？

A まちづくり推進課長

現在契約しているバスは、相手方の責任に帰すべき瑕疵については、その責任において直していただくことになっている。

学校給食共同調理場  
特別会計

納入業者の新型コロナウイルス  
の影響はどうか？

Q 栗谷川柳子委員

原材料費が481万円不

要になっっているのは、新型コロナウイルスで給食が減ったからか、そうであれば町内納入業者の影響はどうか。

A 教育委員会事務局長

3月から1か月近く休校になったため不用額となった。町内業者等についてはもちろん影響があるので、支援金の給付で対応している。

三戸中央病院事業  
特別会計

患者数減少の原因は？

Q 佐々木和志委員

入院患者や内科の外来患者数が減少しているがその原因は。

A 病院事務長

入院については看護師不足により入院患者の受入れを若干抑えて運用していることによる減少。外来については電子カルテシステムの導入により、対応できる予約数で制限していることから減少となっている。



久慈 聡 議員

Q1 第5次三戸町総合振興計画に関して

- ① 事業及び各課により、どのような評価基準で評価され、計画を立案したのか。
- ② 計画をブレイクダウンし実行するためのプロセスは。
- ③ 各主要施策の年度実施計画から評価等の管理方法は。
- ④ 計画を審査する「ふるさとづくり審議会」の委員はどのような経緯で委嘱したのか。
- ⑤ 計画の目標値が数値化されているが、その数値の根拠は。
- ⑥ さんのヘヨロイアみらい会議による町民の意見はどう集約・反映されたのか。また振興計画には反映させたのか。

A 松尾町長

① 第4次計画では、施策の進捗よくや効果を検証する指標や数値目標を設定しなかったため、達成度は示していない。第5次計画の策定にあたっては、各部署で所有するデータを分析し、施策や指標を定めた。

- ② 各施策を推進するため、3年ごとの実施計画を定め、毎年度評価するローリング方式で実行する。
- ③ 施策を所管する各部署で成果指標の達成度を随時管理し、毎年町長へ報告する。

④ 委員はふるさとづくり条例で「ふるさとづくりについて優れた知識と経験を有する方のうちから町長が委嘱する」と定められており、

学識経験者として八戸学院大学から1名、町民代表として町議会議員1名、本町の行政推進に貢献している町内各種団体の長6名の計8名を委嘱した。

⑤ 計画の目標値の根拠は、各部署が保有する直近の数値や統計などにより数値で表すことができ、かつ客観的評価が得られやすいものを指標とし、目標値を設定した。

⑥ 同会議で10年後の三戸町をどんな町にしたいかをテーマにしたワークショップでの意見の一部を盛り込んだ。

まとも

ふるさとづくり審議会の中には、子育て世代や児童関係の方が入っていない。役職の高い人のみではなく、より幅広い年代で審議すべきと考える。



千葉 有子 議員

Q1 町の財政状況について

町が実施した新型コロナ対策の財源のうち、町の持ち出しはいくらか。また、今後の対応で、町の財政は逼迫しないか、現段階の財政状況は。

A 松尾町長

本議会で追加の国県の補助金が可決されれば、町の持ち出しは2231万円となる。財源は基金取崩しで対応中。今後も財政運営に支障がないよう国等の補助を有効活用し対策を進める。

Q2 三戸中央病院の経営について

- ① 病院の経営は好転しているか。病院の将来をどう考えているのか。
- ② 新型コロナ対応で、病院経営に影響はあったか。
- ③ 慢性的な看護師不足に伴う、看護師の勤務体制の工夫と心身のケアは十分に行われているか。

A 松尾町長

① 医師や看護師不足、診療報酬引き下げ等で収支の均衡を図ることが難しいが、へき地医療拠点病院として適切な医療サービスの提供に努める。

② 院内感染防止のために、電話診療、長期処方などで外来患者の制限を行ったため、患者数が昨年比で6%減った。

③ 高齢化により患者の生活介助などの負担が増えている。随時採用や介護福祉士の増員で負担軽減を図るほか、心身ケアでは健診、ストレスチェック等を実施しており、メンタル不調者は外部機関での面談等で支援している。

Q3 子育て包括支援センターの設置・運営について

- ① 子育て包括支援センターの設置・運営についての進捗よく状況と、具体的な支援事業は。

A 健康推進課長

年度内の相談室新設のため、内装工事の調整中。また町民に親しみを持ってもらえるよう愛称を公募する。

再質問

町内の児童生徒にも愛称応募の機会をつくれぬか。

A 健康推進課長

貴重な提案をいただいたので検討したい。



ふじわら  
**藤原 文雄**  
議員

**Q1 近隣市町村との連携について**

人口減少の中、地域経済の維持、行政サービスの効率化には、近隣市町村との連携が不可欠と第5次総合振興計画に記載されているが、三戸高校存続活動など、三戸地域共生への具体的提案はあるか。

**A** 友田教育長

三戸高校存続に向け、学校給食の提供やエアコンの設置、タブレット端末の導入補助など提案している。連携策では隣接自治体からの通学費の助成や通学手段の確保を働きかけたい。

**Q2 町内小中学校の現状について**

① 新型コロナウイルス流行後の、児童生徒の家庭・学校内での様子と、感染予防対策による学校業務拡大などの影響は。  
② 小中学校の部活動の現状と課題は。

**A** 友田教育長

① 町内では授業の遅れも夏休みの短縮もなかった。欠席者等も例年より少なく、生活等に問題は生じていない。国のマニュアル改訂で児童生徒が消毒作業をできるようになり、教職員の負担が減少している。

② 小学生はスポーツクラブや教室等で活動している。中学校は生徒の減少で団体種目のチームを組めないことや、教員の減少で顧問が配置できないなどの課題がある。

**Q3 農林業振興策について**

① 農業従事者の高齢化が進む中、新規就農者や継承者の育成は急務だが、これに向けた取り組みは。  
② 今後の林業や自然環境に多大な影響を及ぼす「松くい虫」「ナラ枯れ病」の調査状況と対策は。

**A** 松尾町長

① 最長7年間、最大1050万円が交付される国の農業次世代人材投資事業を活用し、これまで24名に支援しているほか、就農相談も行っている。

② 県が防災ヘリやドローンで調査し、町内では被害が確認されていない。被害の拡大防止策を林業関係団体に周知する。



やまだ  
**山田 将之**  
議員

**Q1 町の情報発信について**

ICTの進展で情報があふれる中、多岐にわたる町の情報発信には、伝える相手や内容、時期などを加味した広報媒体の選定、発信方法の工夫が必要である。これにより町の施策の理解が深まり、その効果も高まる。

地域間競争が激化し、どの自治体も情報発信に力を入れているからこそ、戦略的に情報発信をしていかなければならないと考えることから以下の点について質問します。

① 三戸町の情報発信の現状と課題。  
② 各SNSの特徴をどのように認識しているか。また町の情報発信ツールとしての選定基準は。

**A** 松尾町長

① 町の情報発信は広報さんのへ、回覧、観光パンフレット、ホームページがあり、回覧はラインでも提供している。このほか、ツイッター、フェイスブックといったSNSを

活用している。若い世代はSNSを多く使うので、その効果的な使い方の研究が必要である。

② ツイッターは若者の利用が多く、リツイートによる拡散力がある。町のSNSでもフォロワー数が一番多い。フェイスブックは30代以上の利用が多く、長文発信が可能なためそれにカスタマイズした記事を掲載している。ラインは全世代で利用される最大のSNSで、各戸配布や回覧チラシを配信しており、今年度は婚活情報専用ラインも開設した。

**再質問**

ラインに関して、住民が欲しい情報だけ登録しての配信や、防災情報、道路、公園等の不具合の通報などの受付窓口としての利用の考えはないか。

**A** まちづくり推進課長

自治体用に活用できる、婚活や子育てなど、受け取る側が選択するサービスがあるので、そういった展開も進めたいが、まずはユーザー数を伸ばすのが最大の課題である。



くりやがわりゅうこ  
**栗谷川柳子**  
議員

Q1 災害時の避難所の開設について

台風や集中豪雨による河川氾濫の危険のため、避難準備や高齢者等避難開始、避難勧告・指示が出される際、関根川原地区の住民はアップルドームへ避難するよう指示される。先日の大雨でも、アップルドームに避難所が開設され、約1時間後にジョイワークに一時待避所が開設された。

高齢者の中にはアップルドームまでの移動手段がない方もおり、民生委員や地区の住民が協力して避難しているが、増水は時間との戦いであり、避難に時間がかかると大変危険である。

ジョイワークであれば自分で歩いて避難できるという声も聞かれるため、関根川原地区周辺の住民の避難所を最初からジョイワーク三戸にできないか。

A 松尾町長

避難所の開設にあたっては、これ

までの浸水災害場所、収容人数、施設の整備状況からアップルドームを活用している。

今後も新型コロナウイルス対策を含めた各避難所の役割分担や被災想定場所を勘案して対応するほか、住民の安全確保を最優先し、体制の整備に努める。

再質問

避難が生じることが多い関根川原地区に近く、指定避難場所にもなっているジョイワークと保健センターであれば、もっとすぐに緊急の一時的な避難所になると思うが、できない理由があるのか。

A 総務課長

指定避難所は主に公共施設、指定緊急避難場所は各町内会館を指定している。

ジョイワークや保健センターは指定されていないが、先日は避難指示という緊急性があったため開設した。

関根川原地区の皆さんが適時適切に避難できる環境が必要であるため、指定の見直し等検討する。



おがさわらきみお  
**小笠原君男**  
議員

Q1 コロナ禍における経済支援と景気対策について

コロナ禍による観光産業を始めとした経済の落ち込みは全国で顕著である。

当町において特に飲食業・農畜産業が影響を受けており、事業者への緊急支援金、個別には商品券などの支給を実施しているが、なかなか経済回復の兆しが見えない。

そこで以下について、町ではどう支援していくのか質問します。

① 飲食店等の売り上げは依然として昨年を下回っているが、支援する方策はないか。

② 卒業・入学式等の縮小、歓送迎会等の自粛による切花需要の落ち込みで価格下落となった農家の支援はできないか。

③ 祭りや学校行事の縮小等、当町の大きなイベントが自粛や感染リスク回避のため中止となったが、町が先導しての景気対策は考えていないか。

A 松尾町長

① 町では町内経済維持のため、緊急経済対策として5月から飲食店でも利用できるさんのへ応援商品券を全世帯に配布した。また前年比20%以上減少した飲食店等には月最大15%の支援金を計46業者へ支給した。このほか各店のテイクアウトメニューを取りまとめたチラシの全戸配布、現在はタクシーによる飲食物デリバリーや飲食店のメニューを紹介するポータルサイトを構築中である。

② 花卉生産者へは、国の高収益作物次期作支援交付金があるほか、町では国の要件を緩和した次期作支援交付金の交付と、町内公共施設に花を飾るインドア花いっぱい応援事業を実施している。

③ 町では5月から緊急経済対策を行ってきたが、10月からは商工会のプレミアム付き商品券が始まり、経済活性化が継続されるほか、南部町、田子町と連携した、食歩きスタンプラリーを実施し、事業者へ補助を行う。イベントは感染防止策をしながら実施に向け検討していく。

# 請願 陳情 審査 結果

請願とは？：国や地方公共団体に対してお願いをすること。日本国憲法でその権利を保障しており、議会が受理します。請願をする場合には請願を提出する議会の議員の紹介が必要です。

陳情とは？：請願同様、特定事項に利害のある住民が公共団体等に実情を訴え、適切な措置を求めるもの。法による保障はなく、紹介議員も必要ありませんが、住民の声として請願と同様に対応しています。

意見書とは？：法に基づき、地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を文書化したもので、これを国会や関係省庁などに提出します。

## 陳情第2号

「日米地位協定の抜本的見直しを求める陳情」

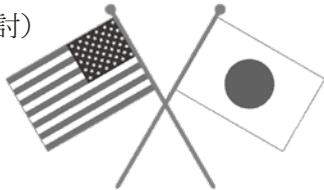
### 【陳情の要旨】

1960年に結ばれた日米地位協定は、国会で十分審査されず、改正もされていない。三沢基地の米軍機は幾度となく事故を起こしており、県民の不安も広がっているため、抜本的な見直しを求める意見書を国へ提出してほしい。

### 【審査機関(総務文教常任委員会)の意見】

日米地位協定等についてさらなる理解が必要であることから、引き続き熟考する。

【審査結果】 継続審査（次の議会まで審査を継続し、慎重に検討）



## 陳情第5号

「砂利道の舗装に関する陳情」

### 【陳情の要旨】

近隣住民の生活道路であり、三戸保育園の通園道路となっている同心町字古間木平地区の砂利道が、大雨後に泥濘化し、昼夜を問わず危険性があり通行困難となる。幼児、高齢者の安心・安全のため、町道認可舗装してほしい。

### 【審査機関(建設農林常任委員会)の意見】

陳情を受けた土地は迂回路もなく、住民も少ない。その他の利用者は園児の送迎者のみであり、舗装の必要性についてはさらなる検討が必要。

【審査結果】 継続審査（次の議会まで審査を継続し、慎重に検討）

## 陳情第6号

「後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出の陳情」

### 【陳情の要旨】

昨年政府の検討会議が75歳以上の後期高齢者医療費の負担を「負担能力に応じたものへと改革する」と中間報告したが、高齢者世帯の8割は年金生活者であり、貧困者も増えているため、国へ「窓口負担については現状維持に努めること」という意見書を提出してほしい。

### 【審査機関(民生商工常任委員会)の意見】

陳情内容はもっともである。

### 【審査結果】

採択（次の議会に意見書案提出）

## 陳情第7号

「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書採択の陳情」

### 【陳情の要旨】

加齢性難聴者の補聴器使用率は欧米の40%に対し日本は10%台と低く、また価格も15万円ほどと高額なため普及が進まない。欧米では公的補助制度があり、日本でも6県92市町村で補助を行っている。加齢性難聴者の生活の質の維持やうつや認知症予防等のために標記の意見書を国に提出してほしい。

### 【審査機関(民生商工常任委員会)の意見】

陳情内容はもっともである。

### 【審査結果】

採択（次の議会に意見書案提出）

# 議決結果一覧

議案番号	件名	議決月日	議決結果
報告 第14号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について 【概要】令和元年度決算において、実質赤字比率、連結赤字比率ともに赤字なし。実質公債費比率は11.3%で1ポイント改善。将来負担比率は60.3%で11.7ポイント改善。資金不足比率は三戸中央病院特別会計で8.8%となり1.4%低下。		報告済 (報告日9月1日)
議員提案 第3号	三戸町議会会議規則の一部を改正する規則案 【概要】議員の欠席を「事故あるとき」に認めると定めていたものを「議員が疾病、出産、家族の弔事又は看護若しくは介護、配偶者の出産補助」と明記。	9月4日	原案可決 (全会一致)
意見書案 第1号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書案 【概要】標記意見書を国の関係省庁へ提出するもの。	9月4日	原案可決 (全会一致)
意見書案 第2号	看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書案 【概要】標記意見書を国の関係省庁へ提出するもの。	9月4日	原案可決 (全会一致)
意見書案 第3号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書案 【概要】標記意見書を国の関係省庁へ提出するもの。	9月4日	原案可決 (全会一致)
議案 第41号	三戸町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】職員が新型コロナ患者の救護やウイルス付着物件の処理を行った場合4千円以内の手当を支給するもの。	9月4日	原案可決 (全会一致)
議案 第42号	三戸町手数料徴収条例の一部を改正する条例案 【概要】マイナンバー通知カードの廃止により、カード再発行手数料の規定を削除するもの。	9月4日	原案可決 (全会一致)
議案 第43号	三戸町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例案 【概要】64歳以前から重度医療の対象となる手帳が交付されている人が、65歳を過ぎて障害者手帳の再認定を受ける場合、心身障害者医療助成制度の助成対象である障害等級に該当すれば引き続き助成の対象にするもの。	9月4日	原案可決 (全会一致)
議案 第44号	三戸町国民健康保険条例の一部を改正する条例案 【概要】新型コロナに感染するなどして一定期間仕事ができなかった被保険者へ傷病手当金を支給するもの。	9月4日	原案可決 (全会一致)
議案 第45号	三戸町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案 【概要】省令の改正により、居宅介護支援事業所の管理者要件について、やむを得ない理由がある場合には主任介護専門員を管理者としない取り扱いを可能とするものなど。	9月4日	原案可決 (全会一致)
議案 第46号	三戸町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 【概要】9月30日で任期満了となる佐藤栄子氏を引き続き任命するもの。	9月4日	原案可決 (全会一致)
議案 第47号	令和2年度三戸町一般会計補正予算(第4号) 【概要】歳入歳出ともに4338万円追加するもの。歳入は新型コロナ対策事業への国の交付金が主なもの。歳出はふるさと納税収入1695万円の基金への積み立て、町立児童館備蓄用マスク、空気清浄器等の購入費など。	9月4日	原案可決 (全会一致)
議案 第48号	令和2年度三戸町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号) 【概要】歳入歳出ともに667万円追加するもの。歳入は交付金、繰越金が主なもの。歳出は積立金の増額や新型コロナ傷病手当金など。	9月4日	原案可決 (全会一致)
議案 第49号	令和2年度三戸町国民健康保険直診勘定三戸中央病院事業特別会計補正予算(第2号) 【概要】収益的収支は収入が国の医療従事者慰労金制度の受け入れに係る財源と給付費用など3076万円追加。支出は人件費減額や国の慰労金の増額により307万円の追加。資本的収支は医療機器購入費とそれに係る補助金の増。	9月4日	原案可決 (全会一致)
議案 第50~57号	令和元年度三戸町各会計歳入歳出決算認定について(※P2~3参照)	9月8日	原案可決 (全会一致)
議案 第58号	財産取得(追認)について 【概要】条例に定められた議会の議決を経ずに契約行為を行った児童生徒用タブレットの購入について、あらためて議会の追認の議決を求めるもの。	9月8日	原案可決 (全会一致)
議員提案 第4号	議案第58号 財産取得(追認)についての附帯決議案 【概要】町長以下すべての職員に、二度とこのようなことが起きないように責任感と緊張感を持って職務にあたることを求める決議。	9月8日	原案可決 (全会一致)
議案 第59号	三戸町特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】10月の町長の報酬を10%、副町長・教育長の報酬を5%減額するもの。	9月8日	原案可決 (全会一致)
議案 第60号	三戸町固定資産評価審査委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 【概要】欠員が生じていたため、新たに竹原広実氏を選任するもの。	9月8日	原案同意 (全会一致)
議案 第61号	令和2年度三戸町一般会計補正予算(第5号) 【概要】新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金事業としてテレワーク環境構築事業や病院繰り出し金など歳入歳出ともに1億4315万円追加するもの。	9月8日	原案可決 (全会一致)
議案 第62号	令和2年度三戸町国民健康保険直診勘定三戸中央病院特別会計補正予算(第3号) 【概要】一般会計からの繰り入れや新型コロナ対策機材の購入に係る費用の追加。	9月8日	原案可決 (全会一致)

# 議案審議

議案第49号令和2年度  
国民健康保険直診勘定  
三戸中央病院特別会計  
補正予算（第2号）

一般の方へ看護師の紹介料を支払うことは可能か？

Q 佐々木和志議員

かなり前に、三病へ医師を紹介した方に紹介料を支払って医師不足の解消につなげたかどうかという議論があったが、看護師不足が深刻な中、一般の方でも看護師を紹介した場合には紹介料を支払えば少しでも看護師を集められると思うが、法に触れるか。

A 病院事務長

人材派遣、人材紹介を事業として行う場合には、一定の資格が必要となる。

それとは別に一般の方が紹介した場合には、それが業務であり、業務に対する報酬とみなされ、法的に問題が生じるかもしれないが、明確ではないので調査する。

## 第489回三戸町議会臨時会 議決結果一覧

議案番号及び件名	議決月日	議決結果
報告第13号 専決処分した事項の報告及びその承認を求めることについて (和解及び損害賠償の額を決定することについて) 【概要】町職員が運転する公用車が自動車と接触し、損傷を与えたため、損害賠償額を27万5506円に決定し、専決処分したことの報告。		町長報告済 (報告日:8月11日)
議案第40号 令和2年度三戸町一般会計補正予算（第3号） 【概要】7月10日から12日にかけての大雨で被災した農地や道路の復旧費4116万円や、体温検知システムの導入などの新型コロナ対策費用3111万円の追加。	8月11日	原案可決 (全会一致)



役場玄関に設置された自動体温検知システム



大雨による大舌地区の法面崩落被害

## 研修報告

### 議会のICT化に向け第一歩

10月8日、議会運営委員会主催の議員研修会が開催され、全議員が参加しました。午前中は大舌地区の最終処分場である三戸ウエイストパークを視察し、午後は国民健康保険料の改定経過について住民福祉課から説明を受けました。

その後、議会改革の一環として、議会のICT化推進のためのタブレット端末の研修と、議員向けアプリの使用体験を行いました。

普段パソコンやタブレットを使用しない議員にとっては初歩的な動作からスタートでき、慣れている議員にとっても、将来タブレットを導入した場合、どのような使い方ができるのか、詳しい説明を受けながら学ぶことができました。



アプリ使用体験の様子

# 議員活動リポート



## 二戸市・三戸町・田子町 議会議員協議会総会



8月28日、広域的な調査活動を行うことを目的とした二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会の総会が行われ、全議員が参加しました。

総会では昨年度の事業の報告と決算、今年度の事業計画と予算案が承認されました。

総会後に開催された研修会では、二戸市漆産業課の姉帯敏美課長が「南部が繋いだ浄法寺漆」と題した講演を行い、浄法寺漆は昔から三戸地域と三八地域から広く採取していたことや、「越前衆」と呼ばれる出

稼ぎ集団が生産に深く関わっていたことなどを解説されました。また国宝や重要文化財の修復には国産漆が必要だが、需要と供給がアンバランスであることから、今後はこの地域が協力して漆の木を植栽する必要があると、参加した議員は認識を共有しました。

## 「開かれた議会」に向け 改革を着実に実行します

### 議員全員協議会



6月23日に竹原議長から議会運営委員会に諮問された、議会改革に関する取り組みについて、議会運営委員会ですら慎重に

審議され、「三戸町議会 議会活動実行計画（アクションプログラム）2020」に沿って取り組むべきと決定され9月1日の議員全員協議会

で藤原委員長から竹原議長へ答申されました。

今後は「開かれた議会」を目指し、議会運営委員会が旗振り役となつて、全議員が協力して議会改革を進めていきます。

## SNSの効果的な運用を

### 広報編集委員会

9月23日、広報編集委員会が開かれ、議会が運営しているSNSの効果的な運用法について話し合いました。



議会のフェイスブック、ツイッターは、これまで主に事務局が投稿を行っていましたが、より効果的に運用するためのルールとなる「三戸町議会公式SNS運用方針」を定め、これに基づき各広報編集委員と各常任委員会から代表ひとり担当となり、責任を持って投稿することが決定されました。

## 活性化のためには現状 を知ることから

### 三戸町活性化対策 特別委員会



全議員で構成する三戸町活性化対策特別委員会が、今年度主な調査テーマとしていることについて、8月から9月にかけて3回の自主研修会を行いました。

8月4日は、老朽化している農産物加工センターの建て替えについて、これまでの経緯を農林課から聞き、8月11日は官民連携事業のPPP、そしてその中でも民間事業者が公共施設の建設・運営を行うPFI事業について建設課から説明を受けました。

9月23日は、城山公園を含む町の観光

施策等の現状を知るため、まちづくり推進課から城山公園の管理状況を、教育委員会事務局から三戸城の歴史と発掘調査状況について詳しく説明を受けました。

## 総務文教常任委員会

【調査事項】

### 町有財産の管理運営状況について

7月17日、町が所有する不動産のうち、旧猿辺駐在所、ラジコン公園、旧三戸中学校跡地、ちびっこ広場、旧産直ひろば、旧仮庁舎について現地を訪問し、管理状況等を調査しました。



【調査結果・まとめ】

#### ○旧猿辺駐在所

活用の見込みがなければ住宅としての貸し付けや譲渡の検討を。

#### ○ラジコン公園

利用者が低迷している。増やす工夫を。

#### ○旧三中跡地

水耕栽培ハウスなどの営農団地として活用が可能か検討を。

#### ○ちびっこひろば

遊具が使用禁止で遊び場として活用されていない。返還も視野に方向性検討を。

#### ○旧産直ひろば

施設の有効活用を。

#### ○旧仮庁舎

耐震の関係で危険である。できるだけ早く解体を。

## 民生商工常任委員会

【調査事項】

### 社会福祉協議会および三戸中央病院の運営状況について

7月22日、社会福祉協議会と三戸中央病院を訪問し、社会福祉協議会からは事業概要やシルバー人材センターの運営状況について、三戸中央病院からは主に電子カルテの運用状況について調査しました。

【調査結果・まとめ】

#### ○社会福祉協議会

高齢化により福祉ニーズが増えていく中、パート・契約採用者が多く平均年齢も高くなっている。将来を担うヘルパーを育成できるよ

う魅力の向上を図ってほしい。シルバー人材センターは意欲的に取り組んでおり、会員はやりがいを感じ、利用者は満足感を得ている。

#### ○三戸中央病院

電子カルテ完全移行後は、待ち時間の短縮につながるよう運用を。また紙カルテからの移行中、移行後共に、データ流出等事故がないように進めてほしい。



## 建設農林常任委員会

【調査事項】

### 農作物の生育状況（6月30日）および大雨による被害状況について（7月15日）

農作物の生育状況と、7月12日の大雨で被害を受けた道路や田畑の被災状況について、実際に現地を訪問し調査しました。

【調査結果・まとめ】

#### ○農作物

サクランボ、リンゴとも順調に生育。後継者不足の中、労働力の確保が重要となるため、対策に努めてほしい。ミツバチ導入費用や肥育牛舎建設への補助など、事業展開支援の充実を。

#### ○大雨被害

早急な復旧を。特に大舌地区の町道法面崩落は迂回路のないバス路線・生活道路であり、早期復旧を。



# 研修報告

## 新人議員研修会

8月27日、青森市で令和元年4月の統一地方選挙前後に当選した町村議会議員対象の新人議員研修会が開催され、三戸町議会から9名の議員が参加しました。その概要は次のとおりです。

○期日 令和2年8月27日

○場所 青森県労働福祉会館

○講師 新潟大学准教授

田口 一博 氏

○演題

議員として活躍するために

○内容

### ◆「効果的な一般質問」

効果的な一般質問とするため、まず準備として自分の町の過去の会議録を読み、これまで先輩議員がどんな質問をし、どんな答弁が返ってきたのかを知ることが必要。悪い答弁があった場合、なぜそれが悪いのかを議会事務局に確認する。

国会や県議会はテレビ、イ



ンターネットで視聴できる。また近隣の議会を傍聴したり、先輩議員の質問を聞いたりするなど、上手な質問のまねをすることも必要。

調べればわかることを質問すると、行政側からは大歓迎され、舐められ、成果が出ないので、行き当たりばったりではなく事前に十分すり合わせする。問題解決できるような聞き方が大事なので、答弁する側のことも考え、生産性の無い質問をせず、原因を探り前向きな質問をすることが重要。そのためには職員との信頼関係の構築が何よりも大切。

議会が終了したら、関係者にあいさつするなどのアフターケアや、しばらくしたら質問した話がどうなったかを必ず確認する。議員同士横の連携を持ち情報収集・交換に努めなければならない。

### ◆「災害時の議員活動」

何かあった時にすぐ知らせることができるよう、警察や消防、町長、副町長、担当等の連絡先を確保するなど、議員も日ごろから防災対策をしておかなくてはならない。

いざ災害が発生した場合、役場が一時的に機能しなくなることも予想されるので、その対応を考えておく必要がある。議員として日ごろから住民の顔を知る努力をしておくことで身元確認の支援ができる。

復旧過程において、被災地の議員は政務活動、議会活動のひとつとして、国や県への陳情を行うなど、職員の代わりに活動をしなければならない。また議員は被災地での議員対応について情報を収集し、事務局がそれを取りまとめ執行部へ報告を行う。

## 三戸町議会定例会（12月議会）予定 ※全日午前10時開始

12月10日(木)	開会、町長による議案の提案理由の説明
12月11日(金)	議案熟考のため休会
12月12日(土)、13日(日)	休日のため休会
12月14日(月)	一般質問
12月15日(火)	一般質問(予備日)、議案審議・採決、閉会

※傍聴は申し込み不要です。お気軽にお越しください。

## 編集後記

9月の定例会では決算特別委員会が設置・付託され、令和元年度の歳入歳出決算と主要施策の成果報告について活発な審議が行われました。

また、一般質問では、総合振興計画、財政状況、子育て教育、農林業、情報発信、防災、経済支援など多岐にわたる質疑が繰り広げられました。

議会閉会中は各委員会の活動が活発な状況です。コロナ禍で毎年楽しみにしている町内行事も減り、皆さんと集会等で交流できる機会も限られ、焦る気持ちがあります。しかし現在は「町民に開かれた議会」を目指し、委員会ごとに機能向上のための話し合いを活発に行い、集中して議会改革に取り組んでおります。

議会は誰でも傍聴できますので、ぜひ一度お足運びいただければと思います。

(栗谷川柳子)

三戸町議会広報編集委員会  
委員長 山田 将之  
副委員長 久慈 聡  
委員 栗谷川 柳子  
藤原 文雄  
佐々木 和志  
竹原 義人

